

平成24年度 事業計画

3月11日の東日本大震災と原発事故、風評被害等により全国的に観光客が伸び悩む中、官民一体となって誘致事業を実施した結果、平成23年度は下呂温泉宿泊客が100万人に復帰することができました。しかしながら低単価競争など下呂温泉を取り巻く環境は厳しく、先行き不安な要素が多々あり、経済の復活にあわせて、元気な日本、元気な下呂温泉をアピールして参ります。また、この厳しい状況を乗り越えるために、引き続き、官民一体となって地域の活性化に向けた一層の取り組みを実施して参ります。

誘致宣伝委員会では、昨年度観光データーの分析を行い、各方面からの入込状況の把握を行いました。本年度も行政並びに旅館組合、コンベンションビューロとともに宿泊客の増加を目指した効果的、即効的な誘客対策を進めて参ります。特に誘致事業においては、本年度もラジオ、テレビなどを活用した広告宣伝を行い、関東地方をはじめ、東海北陸・関西・中国・九州方面に至るまでの広範囲にわたったキャラバンを実施します。また多様化するニーズに応えるため、観光事業に精通した案内人（ガイド）を育成し、観光コーディネーターとしての役割を担う人材を育成して参ります。パブリシティでの情報発信、各地での観光物産展など昨年以上に積極的に実施致します。

また本年度は「ぎふ清流国体」が開催されますので、全面的な協力体制で対応を進めて参ります。

植樹・清掃活動などの環境整備事業を行い、連泊できる魅力ある観光地づくりを目指し、おもてなしの心の向上を図って参ります。

今年度は下呂市観光協会連絡協議会のさらなる連携強化と広域的な誘致宣伝活動を行なうための、事業を展開していきます。市内各地域との一層の連携と行動、協働作業により豊富な観光資源を連携させ、更なる魅力アップに努めて参ります。

JR東海とは「Shupo」、「飛驒路キャンペーン」、「JR さわやかウォーキング」などの展開、また、高山本線強化促進、研修事業としての「車上セミナー」の実施、現地での誘致宣伝活動を行なって参ります。

下呂市、下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合、下呂市コンベンションビューロー、ふるさと文化財団などとの連携を強化し、経済の活性化、雇用の拡大を図る事業を進め、下呂交流会館「アクティブ」を中心に、「MICE」によるコンベンションを活用して効果的な誘致活動を進めます。観光施設や関係各団体との意見交換や情報提供を進めながら、顧客ニーズへの対応やおもてなしの心を反映できる人材育成に努めて参ります。

富加・関インターからの県道アクセス、41号線雨量規制緩和、リニア中央新幹線までのアクセスの向上、河川及び景観の整備、安全確保のための基盤整備、“ワイドビューひだ”の大阪直通便の増発、北陸新幹線を含めた高山本線の有効的な活用など関係機関へ働きかけを行って参ります。

また、韓国との交流などから外国人誘客のための招致事業や観光展への参加など、インバウンド事業も積極的に進め、情報交換や学習機会の創出に努めて参ります。

下呂温泉年間宿泊者数が130万人に到達するための数値目標を定め、常に現状を見極めながら、日本の宝である下呂温泉の更なる発展と雇用の確保、地域の活性化を目指して参ります。関係各位のご厚情と会員の皆様のご協力をお願い致します。